

米国南部でまた製材大手買収

製材生産能力26億BMに拡大

インターフォー

インターナショナルフォレストプロダクツ（Wインターフォー）、カナダBC州バンクーバー、ダンカン・デイビス社長CEOは9日、米国南部の製材大手を1億8000万ドル（米ドル）で買収するとの基本合意を発表した。この買収が完了すると同社の年間製材生産能力は26億BM（実材積換算推定420万立方尺）に拡大し、北米の製材大手5社の一角に躍進する。

北米大手5社の一角に

買収するのはイリムティンバーなど多くの林産企業を傘下に置くロシア最大の山林、製材、製紙、パルプ等総合林産大手のイリムグループが米国南西部に所有するトールソンランバー（シヨートシア州ペリ）で、買収総額は1

億8000万ドル、このうち1億2990万ドルを現金、3億6800万ドルをインターフォーの株式で支払う。併せてイリムグループ前CEOのポール・ハーバート氏をインターフォーの役員に推挙する。インターフォーが買

収を表明したトールソンランバーは、傘下に製材2工場（ペリー、プレストン）及び2次加工設備（ペリー）を有し、合計年間製材生産能力は4億BM強。同社は最近、米国で最もコスト競争力に優れたサザンパイン製材工場

の一つとして格付けされたこともある。13年の売上高は1億3400万ドル。同社は15年着手予定で、ペリー製材工場に対し、KD設備の拡充をはじめとした生産増産に向けた設備投資を計画しており、投資完了後は同工場単体で年間製材生産能力を5億BMに増強させるとの方針を打ち出している。

今回の買収が完了すると、インターフォーの製材生産能力は年間26億BMへ20%増強される。同社は近年、米松製材大手であるコロニアピスタをはじめ、米国北西部ワシントン、オレゴン州で製材工場買収を進め、現在、製材4工場を有するが米国南部でも昨年、レコニアから製材3工場を買収するなど精力的なM&Aを展開し、現在、製材4工場を傘下に置く。この買収が完了すれば6工場となり、米国南部製材地帯でも急速に存在感を高めてくる。買収後の同社の米国内製材生産能力は年間9億BM強に拡大する見通しだ。